

《平成30年度～令和元年度》

島根大学男女共同参画推進室

年次報告書



人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

はじめに

島根大学理事・副学長（総務・労務担当）
男女共同参画室長 藤田 達朗

「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現」を「二十一世紀の我が国社会を決定する最重要課題」（前文）と位置付ける男女共同参画社会基本法が平成 11 年に制定・施行されて 19 年。この間、国、自治体等各方面で、その取り組みが進められてきました。

島根大学も、平成 18 年に学長を委員長とする男女共同参画推進委員会を設置し、「より個性輝く、活力に満ちた大学となるために、また学問の府としての社会的責務を果たすため」（同年決定の島根大学男女共同参画基本理念・基本方針）、率先して男女共同参画社会実現を目指して取組を進めてきました。その中で、平成 20 年に科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」プログラムに本学の事業が採択され、これを契機に男女共同参画推進室が設置されました。

推進室は、島根大学が取り組む男女共同参画事業のまさに推進エンジンとして、「さぼっとカフェ」やランチ・ミーティング等の情報・意見交換の場の定期的開催、メールマガジン「さぼっと通信」の定期発信、出産・育児や家族の介護などで研究時間確保が困難な教員のための研究サポーター制度の運用等、各種事業を進めてきております。本報告書は、第 3 期中期目標・中期計画に対して平成 30 年度・令和元年度に島根大学男女共同参画推進室が取り組んだ事業について報告するものです。また国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の事業についても報告いたします。

平成 27 年策定の政府の第四次男女共同参画基本計画、平成 27 年成立の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）などから見ても、早期達成が求められる課題が山積しており、島根大学における男女共同参画事業のより積極的な実施が強く求められています。いうまでもなく、このような中、男女共同参画推進室の担うべき役割と責任は極めて大きいものがあります。

男女共同参画推進室の愛称である「さぼっと」には、「男女が互いに『支えあう』（Support）」イメージが込められています。推進室は、この精神のもと、皆さんが互いに知恵を出し合い、力を寄せ合って、島根大学の全教職員、学生が生き生きと働き学ぶことのできる環境を整備するため、力を尽くしたいと思います。

皆様のご理解とご協力を、心よりお願いいたします。

島根大学男女共同参画 基本理念 基本方針

基本理念

男女共同参画社会とは男女がその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することのできる社会のことであり、その実現は21世紀の最重要課題です（男女共同参画社会基本法）。

島根大学は、より個性輝く、活力に満ちた大学となるために、また学問の府としての社会的責務を果たすために、率先して男女共同参画社会の実現をめざします。

島根大学は、この目標を達成するために、教育・研究活動、社会との協働活動および男女共同参画型学内環境の構築に取り組みます。

基本方針

- ・男女共同参画社会の実現に寄与する教育・研究を推進し、人材の育成を行う。
- ・性別にかかわらず、学びやすく働きやすい学内環境を構築する。
- ・男女共同参画を阻害する要因の除去に取り組む。
- ・実質的な男女の機会均等を達成するため、積極的に取り組む。
- ・社会協働活動を通じて、地域の男女共同参画の推進に貢献する。

(平成19年1月22日制定)

事業計画について

1. 「島根大学男女共同参画基本理念・基本方針」及び本学の中期目標・中期計画に基づき、「誰もが学びやすく働きやすい島根大学」を目指し、学長・担当理事の強力なリーダーシップのもと、全学体制で学業環境・職場環境の改善とワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に向けた事業に取り組む。
2. 国の第3次男女共同参画基本計画における重点分野として新設された『科学技術・学術分野における男女共同参画（「働きやすい環境整備に向けた取組の支援」及び「女性研究者の採用・登用の促進」）』を踏まえた事業に取り組む。
3. 平成20年度から22年度まで3年間実施した「女性研究者支援モデル育成事業（文部科学省科学技術振興調整費）：地方から開く女性研究者の未来 in 島根」の成果を活かして、同事業において確立した各種制度、支援事業を学内の各部局と連携し実施する。
4. 学外関係機関、団体等と連携を図りながら、地域に向けた男女共同参画意識の醸成に取り組む。

島根大学第3期中期目標 抄（平成28年度～平成33年度）

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 組織運営の改善に関する目標

- ② 弾力的な給与制度の運用を推進するとともに、男女共同参画を推進し、組織の活性化を図る。

島根大学第3期中期計画 抄（平成28年度～平成33年度）

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- 59 男女共同参画を推進するため、女性支援体制を強化するとともに、仕事と家庭の両立支援のための学内環境を整備し、女性教員の比率を22%以上に、女性幹部職員の比率を13%以上に増加させる。

島根大学ダイバーシティ推進宣言

島根大学は、島根大学憲章に基づき、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努めており、今後、島根大学が「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」としてさらに飛躍するためには、教育、研究、就労の場におけるダイバーシティ（多様性）の推進が必要です。

多様な価値観や生き方を尊重する学内文化を醸成し、構成員一人ひとりの才能を活かしながら、教育研究活動を通じて地域社会に活力を生み出し、活力にあふれる地域の未来を先導する大学でありたいと考えます。

そこで、島根大学は以下の基本方針を掲げ、ダイバーシティを推進することをここに宣言します。

ダイバーシティ推進のための基本方針

1. 島根大学は、ダイバーシティ推進に対する意識を啓発し、本学の意思決定において、構成員の多様な意見が尊重されるよう環境整備に努めます。
2. 島根大学は、すべての構成員が個性と能力を十分に発揮できる教育・研究・就労環境を整備します。
3. 島根大学は、ダイバーシティ推進の視点に立った人的構成と人材育成を推進します。

令和元年 6月 6日

国立大学法人島根大学長

服部 泰直

目 次

I 実施報告	
活動年表.....	1
II 男女共同参画推進に向けた意識啓発事業・広報活動	
1 意識改革・意識啓発のための講演会、セミナー等の開催	
(1) 講演会・公開講座.....	4
(2) さぼっとカフェ.....	8
2 広報活動・シンポジウム等への参加	
(1) 広報活動.....	19
(2) シンポジウム等への参加.....	19
III 学生支援事業	
1 女子中高生の理系進路選択支援事業.....	22
IV ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進事業	
1 仕事と家庭の両立支援	
(1) 出雲キャンパス学童保育施設「キッズクラブ太陽」開設.....	27
(2) ニュースレター「シマダデイ」.....	27
(3) 夏期学童保育の実施.....	29
2 女性支援体制	
(1) 研究サポーターの配置.....	30
(2) センター試験入試における託児サービス.....	30
(3) 研究者ネットワーク「SANIN 研究者ご縁ネット」.....	31
V その他	
(1) 平成 30 年度プレミアムこっころカンパニー島根県知事表彰を受賞.....	36

VI 資料

島根大学男女共同参画の状況.....	37
実施体制	
1 組織.....	39
2 構成.....	40
3 規則.....	43
4 事業主行動計画.....	49
沿革.....	52

I 実施報告

平成 30 年度活動年表

月	事業・業務内容
4 月	24 日 第 20 回しまね女性研究者ご縁ネットミーティング
5 月	15 日 第 72 回さぼっとカフェ 30 日 第 21 回しまね女性研究者ご縁ネットミーティング
6 月	5 日 第 73 回さぼっとカフェ in 出雲 6 日 第 74 回さぼっとカフェ 13 日 第 75 回さぼっとカフェ 島根大学職員キャリアアップセミナー 「女性の活躍推進に向けて」石井 澄江氏 28 日 第 22 回 SANIN 女性研究者ご縁ネットミーティング しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施
7 月	11 日 第 76 回さぼっとカフェ 18 日 第 23 回 SANIN 女性研究者ご縁ネットミーティング 23 日 出雲キャンパスに学童保育施設「キッズクラブ太陽」開設 27 日 第 24 回 SANIN 女性研究者ご縁ネットミーティング しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施
8 月	7 日 第 77 回さぼっとカフェ 10 日 第 25 回 SANIN 女性研究者ご縁ネットミーティング 20 日・21 日 夏期学童保育実施 研究サポーター募集 しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施
9 月	25 日 第 78 回さぼっとカフェ 26 日 第 26 回 SANIN 女性研究者ご縁ネットミーティング 27 日 ワークライフバランスセミナー 島津 明人氏 ニュースレター「シマダディ」第 6 号発行 しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施
10 月	10 日 第 79 回さぼっとカフェ しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施

11月	<p>6日 第27回 SANIN ご縁ネットミーティング</p> <p>7日 島根大学職員キャリアアップセミナー 『メンター』と『ワークデザイン』 篠塚 英子氏</p> <p>13日 第80回さぼっとカフェ</p> <p>19日 第10回中国四国男女共同参画シンポジウム参加</p> <p>21日 第28回 SANIN 女性研究者ご縁ネットミーティング</p> <p>23-25日 パネル展（私たちは「買われた」展）・講演会 仁藤 夢乃氏</p> <p>30日 公開講座「デートDVについて」 村瀬 幸浩氏</p> <p>ニュースレター「シマダディ」第7号発行</p> <p>しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施</p>
12月	<p>4日 第81回さぼっとカフェ in 出雲</p> <p>14日 第29回 SANIN ご縁ネットミーティング</p> <p>15日 しまねガールズ・サイエンスプロジェクト成果報告会</p> <p>19日 平成30年度プレミアムこころカンパニー島根県知事表彰受賞</p> <p>しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施</p>
1月	<p>9日 第82回さぼっとカフェ</p> <p>13日 家事・育児フォーラム</p> <p>15日 アンガーマネジメント入門ワークショップ</p> <p>17日 第30回 SANIN ご縁ネットミーティング</p> <p>19日・20日 大学入試センター試験における託児サービス</p> <p>しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施</p>
2月	<p>12日 第83回さぼっとカフェ</p> <p>27日 第31回 SANIN ご縁ネットミーティング</p> <p>しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施</p>
3月	<p>18日 第32回 SANIN ご縁ネットミーティング</p> <p>しまねガールズ・サイエンスプロジェクト実施</p>

I 実施報告

令和元年度活動年表

月	事業・業務内容
4月	26日 第33回 SANIN ご縁ネットミーティング
5月	14日 第84回さぼっとカフェ 27日 第34回 SANIN ご縁ネットミーティング
6月	5日 第85回さぼっとカフェ 6日 第86回さぼっとカフェ 15日 ダイバーシティ推進宣言
7月	19日 第35回 SANIN ご縁ネットミーティング 第87回さぼっとカフェ
8月	6日 第88回さぼっとカフェ 20日・21日 夏期学童保育実施 山陰ガールズプロジェクト実施
9月	18日 第36回 SANIN ご縁ネットミーティング 25日 第89回さぼっとカフェ in 出雲 文部科学省 2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択
10月	15日 男女共同参画推進室からダイバーシティ推進室に名称変更

II 男女共同参画推進に向けた意識啓発事業・広報活動

1 意識改革・意識啓発のための講演会、セミナー等の開催

(1) 講演会・公開講座

平成30年度

9月27日	ワークライフバランスセミナー 講師：北里大学 一般教育部人間科学教育センター教授 島津 明人氏 共催：医学部附属病院ワークライフバランス支援室
11月30日	公開講座 「デートDVについて」 講師：元一橋大学講師・日本思春期学会名誉会員 村瀬 幸浩氏 共催：(社)しまね性暴力被害者支援センターさひめ
1月13日	家事・育児フォーラム 「パパとママのための子育てハッピーアドバイス」 講師：精神科医・真生会富山病院心療内科部長 明橋 大二氏 主催：しまね働く女性きらめき応援会議・島根県男女共同参画社会形成促進会議・島根県
1月15日	アンガーマネジメントワークショップ 講師：島根大学保健管理センター長・生物資源科学部教授 尾崎 浩一氏 共催：医学部附属病院ワークライフバランス支援室

●ワークライフバランスセミナー

「すべての人の健康と幸福に向けて：
ワーク・ライフ・バランスから考える持続可能な働き方」
開催日：平成30年9月27日（木）18：00～19：30
場 所：医学部講義棟1階国際交流ラウンジ
講 師：島津 明人氏
（北里大学 一般教育部人間科学教育センター 教授）

北里大学の島津明人氏を講師に招き、ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施した。



●公開講座

「デートDVについて～性の主体者として幸せに生きるには～」
開催日：平成30年11月30日（金）12：45～14：15
場 所：大学ホール
講 師：村瀬 幸浩氏
（元一橋大学講師・日本思春期学会名誉会員）

元一橋大学講師の村瀬幸浩氏を講師に招き、さひめ公開講座を実施。性をかけがえのない大切なものとして優しく扱うこと、性の快楽を対等性・相互性に基づく「共生」と考え、女性の性的主体性やコミュニケーションの視点を重視することなどについてお話しいただいた。



一般社団法人しまね性暴力被害者支援センターさひめ公開講座

デートDVについて ～性の主体者として幸せに生きるには～

平成30年11月30日（金）

講師：村瀬 幸浩先生
元一橋大学講師・日本思春期学会名誉会員

<p>場 所 鳥根大学松江キャンパス大学ホール (松江市西川町 1060)</p> <p>時 間 受付 12:30 / 講演 12:45-14:15</p> <p>定 員 50名 (定員に足り次第の場です)</p> <p>受講料 無料</p>	<p><講師プロフィール> 1971年 愛知県名古屋生まれ。東京理科大学経済学部に入学、私立光学院高等学校体育教師として卒業後、この間総合学習科で「人間性」を習得。1999年 学位を志願、元一橋大学講師(科目は「心理学」)。1999年(1999年) 1992年「人間性」教育研究機構の設立に参加、正副会長。及び発行編集(『SEXUALITY』)。1992年「人間性」教育研究機構の設立に参加、正副会長。及び発行編集(『SEXUALITY』)。1992年「人間性」教育研究機構の設立に参加、正副会長。及び発行編集(『SEXUALITY』)。1992年「人間性」教育研究機構の設立に参加、正副会長。及び発行編集(『SEXUALITY』)。</p>
---	---

【主催】一般社団法人しまね性暴力被害者支援センターさひめ
【共催】国立大学法人鳥根大学男女共同参画推進室
松江市

【申し込み先】しまね性暴力被害者支援センターさひめ
E-MAIL shimane.sahime@gmail.com
FAX: 0852-32-6467

【申し込み切】11月28日 ※事前申し込みが必要です。

障がい等への配慮が必要な方は、男女共同参画推進室(0852-32-6018)までお問い合わせください。

●家事育児フォーラム

「パパもママもハッピー家事・育児フォーラム」

開催日：平成 31 年 1 月 13 日（日）13：30～15：30

場 所：大学ホール

講 師：明橋 大二氏

（精神科医・真生会富山病院 心療内科部長）

第 1 部：明橋大二氏による講演

「パパとママのための子育てハッピーアドバイス」

第 2 部：トークセッション

「しまねのパパとママはどうしてる？」

司会・進行：河野 美知氏（株式会社ちいきおこし代表取締役）

ゲストスピーカー：高島 智氏（一般社団法人子どものころの
コーチング協会インストラクター 家族が幸せになるバル
ンアート・パフォーマンス by さと原人）

坂根 めぐみ氏（株式会社まるこ代表取締役・株式会社まる珈
琲代表取締役・有限会社坂根屋役員）



第一部では明橋大二氏の講演があり、子どもにとって一番大切な自己肯定感を育むために、子どもの話を聞くことや、できないことではなくできるところに注目する、子どもの頑張りを認めてねぎらうこと、また、「ありがとう」を伝えることが大切だとお話しがあつた。第二部のトークセッションでは島根で子育て真っ最中のパパとママにも登壇いただき、トークセッションを行いました。「仕事と育児を両立するために心がけていること」や「パパの帰宅が遅く、子どもがパパになつかないけどどうしたらいい？」など、参加者からいただいていた質問をテーマに、実態やアドバイスなど話をしていただいた。



●アンガーマネジメント入門ワークショップ

「怒りとの上手な付き合い方」

開催日：平成 31 年 1 月 15 日（火） 17：45～18：45

場 所：医学部本部棟 5 階 大会議室

講 師：尾崎 浩一氏

（島根大学保健管理センター長・生物資源科学部教授）

島根大学保健管理センター長であり、アンガーマネジメントファシリテーター（日本アンガーマネジメント協会）としてもご活躍の尾崎浩一氏を講師に招き、参加者自身の「怒り」の自己診断後、グループワーク、アンガーマネジメントについてレクチャーがあった。教員、医師、看護部、事務部など多職種の参加がありました。「心の持ち方、コントロールの仕方を自分なりに整理できた」「人それぞれで怒りの程度が違うのだと気付くことができ良い機会だった」等の感想が寄せられた。

WELL-Being Balance

アンガーマネジメント 入門ワークショップ

～ 怒りとの上手な付き合い方 ～

【講師】尾崎 浩一(はらけ こういち)氏
プロフィール
島根大学保健管理センター長、島根大学大学院医学部博士課程修了（理学博士）、京都大学大学院理学部博士課程修了、大阪大学大学院理学部博士課程修了、同生命科学研究科を経て、2006年より島根大学大学院保健管理センター長、2018年より島根大学保健管理センター長に就任。アンガーマネジメントファシリテーター（日本アンガーマネジメント協会）としてもご活躍中。シニアフェロウシップ、コロナを機に海外の分子生物学研究施設、および保健管理の会社・福祉やセキュリティの代理店業務の経験に富んでいます。2018年より島根大学保健管理センター長も兼任、アンガーマネジメントファシリテーター（日本アンガーマネジメント協会）としてもご活躍中。研修会などですが、島根の美味しい温泉やセラー、手料理、宴会会場等の風景などを日々楽しんでいます。

【開催日】2019.1.15(火)
【時間】17:45～18:45
【場所】島根大学医学部本部棟5階大会議室
【対象】出雲キャンパス教職員
※事前参加申込み不要ですが、ご参加できる方は事前にワークショップのURLを把握までに連絡ください。

主催：ワークライフバランス推進室
共催：島根大学男女共同参画推進室 ● 地域医療支援学課
【お問い合わせ】ワークライフバランス推進室
TEL：0852-201-2534(直通線36) ● Mail: wlb@med.shimane-u.ac.jp
Webサイト: <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/wlb/>



(2) さぼっとカフェ

毎月1回、昼休みを利用して、教職員や学生、地域の方々が参加し、一緒に昼食をとり、お茶を飲みながら男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの推進についての提案や要望、意見交換、歓談等を行う場、「さぼっとカフェ」を開催している。

平成30年度

月 日	事業・業務内容
5月15日(火)	第72回さぼっとカフェ 「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」
6月5日(火)	第73回さぼっとカフェ in 出雲キャンパス 「篠塚監事との意見交換会」
6月6日(水)	第74回さぼっとカフェ 「篠塚監事との意見交換会」
6月13日(水)	第75回さぼっとカフェ 「NGOで働くということ」
7月11日(水)	第76回さぼっとカフェ 「学生の活動紹介」
8月7日(火)	第77回さぼっとカフェ 「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」
9月25日(火)	第78回さぼっとカフェ 「学生対応について」
10月10日(水)	第79回さぼっとカフェ 「私のキャリアパス、メンターと出会う」
11月13日(火)	第80回さぼっとカフェ 「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」
12月4日(火)	第81回さぼっとカフェ in 出雲キャンパス 「ワークライフバランスとキャリアアップ」
1月9日(水)	第82回さぼっとカフェ 「研究者支援について」
2月12日(火)	第83回さぼっとカフェ 「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」

●2018年5月15日（火）開催

第72回さぼっとカフェ

「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」

「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」と題し、意見交換を実施。出雲キャンパスに学童保育施設を設置することやプレミアムこころカンパニー表彰を受けたことの報告があり、それに関連して、学童保育や子供の安全・子供の居場所づくりに関する意見交換が活発に行われた。



第72回 さぼっとカフェ
 教職員・学生・地域の方との
 意見交換及び情報交換会
平成30年5月15日(火)
12:00 - 13:00
 場所:松江キャンパス
 学生市民交流ハウス(FLAT)
 対象:地域の方、本学教職員、学生
 備考:各自ランチをご持参ください。
 参加無料。事前申し込み不要。
 お茶とお菓子を用意しています。
 主催(問合せ先)
 男女共同参画推進室【さぼっと】
 TEL: 0852-32-6018(内線2157)

●2018年6月5日（火）開催

第73回さぼっとカフェ in 出雲キャンパス「篠塚監事との意見交換会」

篠塚監事をお招きし、病院敷地内に建設中の医学部学童保育の利用や働き方等について活発に意見交換が行われた。



さぼっとカフェin出雲キャンパス
**篠塚監事との
 意見交換会**
 篠塚監事をお迎えし、現在病院敷地内に建設中の医学部学童保育の利用や働き方等について意見交換をします。職員皆様の中直意見交換したいと思いますので、できるだけ多くの方ご参加をお待ちしています。
日時:2018年6月5日(火)
時間:17:30~18:30
場所:本部棟5階大会議室
対象:出雲キャンパス教職員
 篠塚監事(お招き先)の部屋で、ご参加されるの事前に
 ワークライフバランス支援室までご連絡ください。
 0853-20-2534(内線2534) mail@wbl@med.shimane-u.ac.jp
 篠塚 英子 監事
 1964年東京大学医学部卒業、日本臨床研究センター研究員を経て
 1997年お茶の水女子大学助教授、日本銀行審判委員、お茶の水女子
 大学教授、定年退職後、日本財団立憲センターフェロウに就任、この
 12年の長年の社会奉仕活動で委員を歴任し、2009年、東京大学で学
 部人事室に任命される。現在お茶の水女子大学賛助員、鳥取大学
 教授、神戸市立看護学院、金沢学院、シラカワ大
 ◎主催:鳥取大学男女共同参画推進室
 ◎共催:ワークライフバランス支援室 ◎島根大学医学部 地域医療支援学課程
 ◎お問い合わせ:ワークライフバランス支援室
 0853-20-2534(内線2534) mail@wbl@med.shimane-u.ac.jp
 鳥取大学男女共同参画推進室
 ワークライフバランス支援室

●2018年6月6日（水）開催

第74回さぽっとカフェ「篠塚監事との意見交換会」

篠塚監事をお招きし「本学のワーク・ライフ・バランスの現状について」と題して意見交換を実施した。篠塚監事からは、名古屋大学の学童保育の取組や、出雲キャンパスの情報を共有する仕組みについてご紹介いただいた。その中で、新しい取組を実施するには上下や組織内外での相互理解が必要であること、そして幅広い情報を気軽に共有できる仕組みや機会の重要性、会議の議事録など記録を残し供覧する必要性についてお話いただいた。



第74回さぽっとカフェ
篠塚監事との
意見交換会
「ワーク・ライフ・バランスの現状について」

2018年6月6日(水) 12:00~13:00

対象：本学教職員
場所：学生市民交流ハウス(FLAT)
備考：事前申込不要
各自ランチをご持参ください

 講師 長子 直孝
1963年武蔵大学経済学部卒業、日本経済研究センター研究員を経て、1987年財団法人女子大学助産院、日本銀行常務顧問、お茶の水女子大学教授、近年は監事、日本国際生協センター(法テラス)監事、公益財団法人島根大学出雲キャンパスで監事を兼任し、2009年人事院で女性部副長に任命される。現在、お茶の水女子大名誉教授、島根大学教授、専門1号教授経済学、金融政策、シニアアドバイザー。

ランチを食べながら、篠塚監事と本学のワーク・ライフ・バランスの現状や女性活躍促進などについて意見交換を行います。
皆様のご参加をぜひお待ちしております。

主催：島根大学男女共同参画推進室
〒691-8501(内膳157) Mail: kyodo.sanaka@edu.u-niime.ac.jp

●2018年6月13日（水）開催

第75回さぽっとカフェ「NGOで働くということ」

公益財団法人ジョイセフ理事の石井澄江氏を講師としてお迎えし、「NGOで働くということ」と題した講演を行った。



第75回さぽっとカフェ
NGOで働くということ
講師 公益財団法人ジョイセフ 代表理事・理事長 石井澄江さん

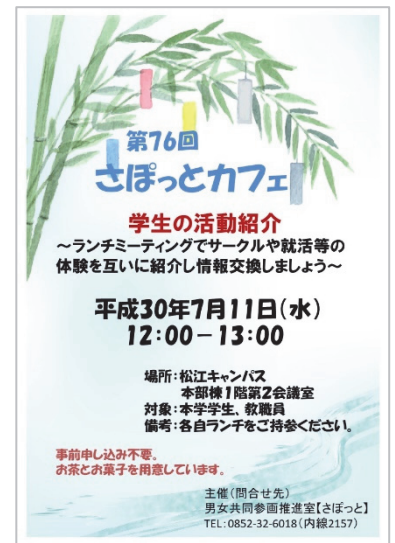
【日時】 6月13日(水) 12:00~14:00
【会場】 法文学部3階 多目的室3
【対象】 島根大学学生、教職員
【備考】 各自ランチをご持参ください
事前申込不要です

講師プロフィール
1976年より国際協力NGOジョイセフに勤務、NGOの立場からアジア・アフリカ地域を中心とした途上国の女性の自立と女性の社会進出を推進。一方で、多くの国産・国産企業にKOBとして参画し、グローバルなCSR活動の中で、国産機関や政府に対する政策提言や研修活動を行っている。また、女性や障害者が活躍しやすい職場づくりや、社会的責任の果たし方を模索している。その経験に基づき、講演やセミナー、そのほかにも、ジョイセフの理事・事務局員を統括する立場から活動。

申込受付先：APC(学生生活課) 0859-810,027
主催：島根大学男女共同参画推進室(さぽっと)
TEL:0859-92-0018(内線2107)
共催：キャリアセンター・法文学部教職委員会

●2018年7月11日（水）開催
第76回さぽっとカフェ「学生の活動紹介」

「学生の活動紹介」と題し、情報交換を実施。図書館コンシェルジュ、プレプレまつえキッズ、学生 EMS 委員会から参加があり、各団体間の交流やイベントの実施についての提案や意見交換が活発に行われた。



●2018年8月7日（火）開催
第77回さぽっとカフェ
「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」

地域の方々、学生、教職員を対象に意見交換及び情報交換会を実施した。



●2018年9月25日（火）開催
78回さぼっとカフェ「学生対応について」

教職員を対象に、学生対応についての悩み等について意見交換を実施した。



**第78回
さぼっとカフェ**

学生対応について

日頃の学生対応についてお悩みの方、教職員で話し合ってみませんか、お気軽にお越しください。

**平成30年9月25日(火)
12:00～13:00**

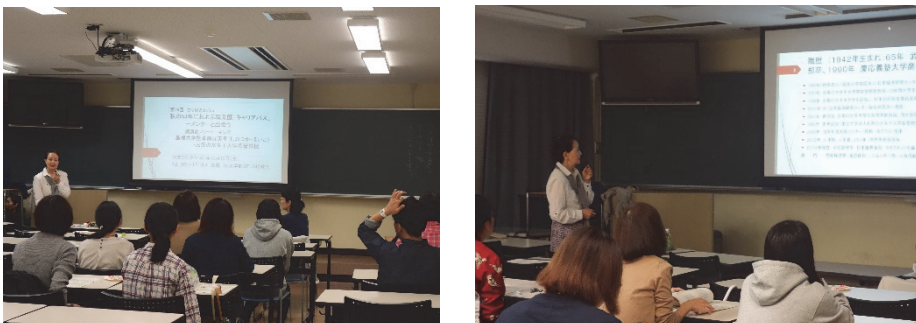
場所:松江キャンパス
学生市民交流ハウス(FLAT)
対象:本学教職員
備考:各自ランチをご持参ください。

事前申し込み不要。
お茶とお菓子を用意しています。

主催(問合せ先)
男女共同参画推進室【さぼっと】
TEL:0852-32-6018(内線2157)

●2018年10月10日（水）開催
第79回さぼっとカフェ
「私のキャリアパス、メンターと出会う」

篠塚監事をお招きし、「私のキャリアパス、メンターと出会う」と題した講演と意見交換を実施。講演では、ご本人のキャリアから、「大学教員の仕事」「人事院の仕事」などそれぞれの仕事について面白さや難しさなど、興味深いお話を聴かせていただき、その後の参加者との意見交換も活発に行われた。



第79回さぼっとカフェ

**私のキャリアパス、
メンターと出会う**

講師 鳥根大学監事 篠塚英子氏

**【日時】 10月10日（水）
12:00～13:30**

【会場】 法文学部3階 340教室

【対象】 鳥根大学学生・教職員

各自ランチをご持参ください
**【備考】 途中入室可能です
事前申込不要です**

講師プロフィール
1956年度鳥根大学経済学部卒業、日本経済研究センター研究員を経て、1987年お茶の水女子大学助教授、日本銀行審議委員、お茶の水女子大学教授、定年退職後、日本司法支援センター（法テラス）監事、このほか中央銀行の各種審議会等で委員を歴任し、2018年人事院で女性初の人事官に任命される。現在、お茶の水女子大学名誉教授、鳥根大学監事、専門は労働経済学、金融政策、ジェンダー論。

本セミナーは法文学部プレグレートセミナーです

主催:鳥根大学男女共同参画推進室(さぼっと)
TEL:0852-32-6018(内線2157)
共催:キャリアセンター・法文学部就職委員会

●2018年11月13日（火）開催

第80回さぼっとカフェ

「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」

地域の方々、学生、教職員を対象に「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」を実施した。

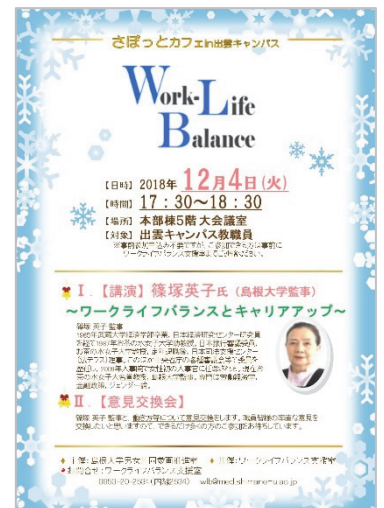


●2018年12月4日（火）開催

第81回さぼっとカフェ in 出雲キャンパス

「ワークライフバランスとキャリアアップ」

篠塚監事お招きし、「ワークライフバランスとキャリアアップ」と題した講演と意見交換を実施。医師、看護師、事務職員等33名が参加した。講演では、ご本人のワークライフバランス、キャリアアップと時代背景、メンターとの出会いなどのお話がとても興味深く、またこれからの国立大学教職員に求められるワークデザインについてもお話いただいた。参加者からは「ワークライフバランスについて考える良いきっかけになった。」「妻のキャリアについて考えさせられた。」との声があった。



●2019年1月9日（水）開催

第82回さぽっとカフェ「研究者支援について」

「研究者支援について」と題し、教職員を対象に実施。研究者にとってどのような支援が必要かについて、多様な視点から活発な意見交換が行われた。



第82回
さぽっとカフェ
研究者支援について
研究者にとってどういった支援が必要か、意見交換を行います。お気軽にお越しください。
平成31年1月9日(水)
12:00-13:00
場所: 松江キャンパス
学生市民交流ハウス(FLAT)
対象: 本学教職員
備考: 各自ランチをご持参ください。
事前申し込み不要。
お茶とお菓子を用意しています。
主催(問合せ先)
男女共同参画推進室【さぽっと】
TEL: 0852-32-6018(内線2157)

●2019年2月12日（火）開催

第83回さぽっとカフェ

「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」

地域の方々、学生、教職員を対象に「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」を実施。

第83回
さぽっとカフェ
教職員・学生・地域の方との
意見交換及び情報交換会
平成31年2月12日(火)
12:00-13:00
場所: 松江キャンパス
本館棟1階第一会議室
対象: 地域の方、本学教職員、学生
備考: 各自ランチをご持参ください。
事前申し込み不要。
お茶とお菓子を用意しています。
主催(問合せ先)
男女共同参画推進室【さぽっと】
TEL: 0852-32-6018(内線2157)

令和元年度

月 日	事業・業務内容
5月14日(火)	第84回さぼっとカフェ 「地域から始める地球とのフェアトレード」
6月5日(水)	第85回さぼっとカフェ 「働き方改革について」
6月6日(木)	第86回さぼっとカフェ 「 <small>エンプロオロジスト</small> 胚培養士というお仕事」
7月19日(金)	第87回さぼっとカフェ 「立木写真館(なっちゃんの写真館)が見つけた奇跡!111年の時を超えて～日露戦争時の写真に見る日露友好の記憶～」
8月6日(火)	第88回さぼっとカフェ 「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」
9月25日(水)	第89回さぼっとカフェ 「学長・篠塚監事との意見交換会」

●2019年5月14日（火）開催

第84回さぼっとカフェ 「地域から始める地球とのフェアトレード」

「地域から始める地球とのフェアトレード」と題して清井優子氏から話題提供があった。身近で購入できるフェアトレード商品を手に取りながらリラックスした雰囲気の中で話し合いが行われた。



●2019年6月5日（水）開催

第85回さぼっとカフェ 「働き方改革について」

篠塚監事をお招きし、「働き方改革について」と題して意見交換を実施した。篠塚監事から、わが国における経済成長が長期停滞しており、生産性を高め成長戦略の柱としての「働き方改革」であるとの説明があり、自分で情報を集めて対応していく重要性についてお話いただいた。多くの教職員が参加し、活発な討議がなされた。



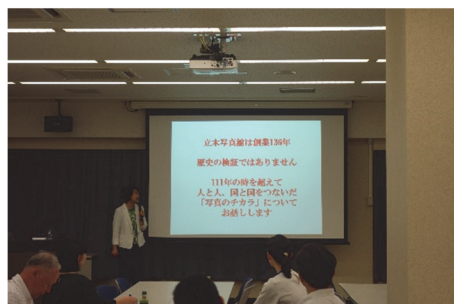
●2019年6月6日（木）開催
 第86回さぼっとカフェ
 エンブリオロジスト
 「胚培養士というお仕事」

生殖医療専門医の高尾医師と臨床エンブリオロジスト（胚培養士）菊池氏をお招きし、医師の指導の下で生殖補助医療を担う臨床エンブリオロジストの取り組みについてご紹介いただいた。臨床エンブリオロジストは、顕微授精や体外授精などの生殖補助医療を行うことを業務とする医療技術者だが、認定資格が必要なこと、細かい技術が必要なことから、まだまだ需要に追いついていない。今後さらに必要とされる臨床エンブリオロジストの仕事の内容やその意義について菊池氏は丁寧に話され、参加学生からは多くの質問があった。



●2019年7月19日（金）開催
 第87回さぼっとカフェ
 「111年の時を超えて～日露戦争時の写真に見る日露友好の記憶～」

徳島大学監事で立木写真館五世代目の立木さとみ氏を講師としてお迎えし、写真館に送られてきた写真から日露友好の交流の歴史を辿っていかれた過程を「111年の時を超えて～日露戦争時の写真に見る日露友好の記憶～」と題して講演を行った。多くの写真を利用したわかりやすい説明に参加者は熱心に耳を傾けていた。



●2019年8月6日（火）開催

第88回さぼっとカフェ「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」

地域の方々、学生、教職員対象に「教職員・学生・地域の方との意見交換及び情報交換会」を実施。地域の活動等について意見交換を行った。



●2019年9月25日（水）開催

第89回さぼっとカフェ in 出雲キャンパス
「学長・篠塚監事との意見交換会」

出雲キャンパスに服部学長と篠塚監事をお迎えし、教職員との意見交換会を実施した。多くの教職員が参加し、働き方改革や学童保育のこと等、活発な意見交換が行われた。



2 広報活動・シンポジウム等への参加

(1) 広報活動

男女共同参画推進やワーク・ライフ・バランスに関する取組・ニュース等について、ホームページやメールマガジン「さぼっと通信」、Facebook を利用して情報発信。



島根大学男女共同参画推進室ホームページ : <http://gender.shimane-u.ac.jp/>

島根大学男女共同参画推進室 Facebook : <https://www.facebook.com/shimanegender/>

(2) シンポジウム等への参加

平成30年度

月 日	事業・業務
11月14日	国立女性教育会館 NWEC アニバーサリーウィーク
11月19日	第10回 中国四国男女共同参画シンポジウム
12月8日	第15回 東北大学男女共同参画シンポジウム『Dual Career Couple 今と未来の「共働き」を考える』
12月9日	平成30年度 女性医師支援担当者連絡会

● 国立女性会館 NWEC アニバーサリーウィーク

平成30年11月14日に、国立女性教育会館のNWEC アニバーサリーウィークにおいて、保健管理センターの河野美江教授が「高校・大学における性暴力への対応～被害者支援から予防まで～」について講演をした。

産婦人科医・臨床心理士の立場から性暴力被害者の支援に携わっており、性暴力が被害者の身体面のみならず、心理面や社会生活・対人関係に至るまで長期にわたり深刻なダメージが残る恐れがあることを指摘するとともに、社会や大学における性暴力に対する理解の浅さなどから、大学における性暴力の被害者支援や予防教育は現状ほとんど行われていないが、大学生の性暴力被害経験率は42.5%と決して低くなく、学生への予防教育ならびに学生相談機関における性暴力被害者に対する支援体制の確立が急務であると話しがあった。



●第10回中国四国男女共同参画シンポジウム

平成30年11月19日に、愛媛大学において、第10回中国四国男女共同参画シンポジウムが開催された。

愛媛大学 大橋裕一学長による開会挨拶の後、お茶の水女子大学 井戸清隆副学長より「先進的なお茶の水女子大学の働き方改革の事例」と題した特別講演があり、次に奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域教授 井上美智子氏より「女性研究者から見た働き方改革」と題した特別公演があった。続いて「大学における働き方改革の実践例の紹介と問題点～改革で、子育て・病气・介護問題が解消に向かうのか?～」と題したパネルディスカッションが行われた。



主催：国立大学法人愛媛大学

平成30年11月19日[月]
13:30~

会場：愛媛大学城北キャンパス内
放送大学愛媛学習センター4階
講義室1・2

**第10回
中四国
男女共同参画
シンポジウム**
男女共同参画を進める「働き方改革」
～大学における働き方改革の実践例～

講師プロフィール
井戸清隆 (いど せいりゅう) 氏
国立大学法人お茶の水女子大学 副学長 (兼職) 特別
准教授 国立大学法人お茶の水女子大学 総合政策学
部専攻長、お茶の水女子大学 総合政策学 専攻長
兼 東京大学総合政策学専攻長 (兼) 特別
准教授、お茶の水女子大学 総合政策学専攻長
兼 国立大学法人お茶の水女子大学 総合政策学
部専攻長 (兼) 特別准教授、お茶の水女子大学
総合政策学 専攻長 (兼) 特別准教授

井上美智子 (いの上 みちこ) 氏
国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科 教授
株式会社富士通研究所、大阪大学博士課程を
経て、1998年奈良先端科学技術大学院大学助
教授、2011年2月教授、2015年～2015年卒業
研究「男女共同参画促進法」
日本学術振興会科学研究費助成事業「女性
研究者のキャリアアップ」研究センター 専門
研究員、日本学術会議委員、分科シ
ステムワーキンググループ「働き方改革の推進」に
関する研究に参画

主催：国立大学法人愛媛大学
連絡先：愛媛大学女性支援センター
TEL: 089-927-9802
E-mail: female@e-u.ac.jp

プログラム
【テーマ：男女共同参画を進める「働き方改革」
～大学における働き方改革の実践例～】
13:30- 開会挨拶 大橋 裕一
13:40- 特別講演1
「先進的なお茶の水女子大学の働き方改革
の事例」 井戸 清隆 氏
14:10- 特別講演2
「女性研究者から見た働き方改革」
(奈良先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科) 井上 美智子 氏
14:40- (休憩10分)
14:50- パネルディスカッション
「大学における働き方改革の実践例の紹介と
問題点～改革で、子育て・病气・介護問題が
解消に向かうのか?～」
井戸 清隆 氏
井上 美智子 氏
コーディネーター (放送大学愛媛学習センター) 井上 美智子 氏
コーディネーター (放送大学愛媛学習センター) 井上 美智子 氏
コーディネーター (放送大学愛媛学習センター) 井上 美智子 氏
16:00- 閉会挨拶 八尋 昌典 学長・副学長

●第15回東北大学男女共同参画シンポジウム『Dual Career Couple 今と未来の「共働き」を考える』

平成30年12月8日に、東北大学において、第15回東北大学男女共同参画シンポジウムが開催された。第1部では第4回 澤柳記念賞授賞式及び受賞講演が行われ、他大学での取り組みを含む男女共同参画推進活動に対して表彰が行われた。東北大学は大局的な観点で、男女共同参画推進を行っていることが窺えた。

第2部の『Dual Career Couple 今と未来の「共働き」を考える』では、学生からシニアまで、様々な意見が交わされた。実際に共働きをしていれば、いろいろな工夫があるといえるが、これからその年代に向かう学生にとっては「不安」が大きいことがわかった。これらの不安を取り除いてあげることは簡単ではないが、私たちが果たさなければならない役割であると強く思った。



●平成30年度 女性医師支援担当者連絡会

平成30年12月9日に、日本医師会館において、平成30年度女性医師支援担当者連絡会に出席した。これは日本医師会女性医師支援センターと日本医学会連合が共催し、女性医師の働きやすい環境整備を推進するために開いたものであり、日本医師会女性医師支援センターから、女性医師バンク、医師会主催講習会の託児サービス、女性医師支援シンポジウムの開催などについて報告された。次に日本医学会連合からは女性会員の獲得に努めていることや、評議員、役員を増やすため積極的に学会座長の女性医師登用を行っていることなどの報告があった。さらに、大学からは短時間でも常勤医師として働くことができるシステムや、復職の際に定員外増員できる柔軟な勤務体制枠についての報告があった。地域の医師からも様々な取り組みの紹介があり、大変参考になった。本学においても本年7月に医学部に学童保育施設を開設し、女性医師支援のみならず、すべての医療従事者にとって安心して働くことができる環境整備に励んでおり、今回の連絡会から得た情報を、本学の支援にも生かしていきたい。



Ⅲ 学生支援事業

1 女子中高生の理系進路選択支援事業

平成30年度

●しまねガールズ・サイエンスプロジェクト

昨年度採択された、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の「しまねガールズ・サイエンスプロジェクト」を継続実施した。女子中高生の科学への興味を促し、自身の将来を見据えたキャリアデザインを考える場を提供し、女子中高生および保護者・教員の理系のイメージを変え、理系キャリアの意識醸成を図ることを目的に以下の事業を実施。

Step1：サイエンスの学びを知る

女子中高生にサイエンスが身近にあることやおもしろさを知ってもらい、科学・理系への興味を促すことを目的に、「サイエンス講演会」「サイエンスカフェ」「出前授業」「体験学修」「研究室見学」を実施した。サイエンス講演会はさんそ学習館ケイオス（安来市亀島町）、研究室見学は本学の生物資源科学部棟にて行われた。

Step2：サイエンスキャリアを知る

地域社会や地域企業と連携して、理系分野の職場をフィールドとした研修を実施し、女子中高生の理系キャリアに対する意識変化を促すことを目的とし、多様な人材が活躍している企業、病院、研究機関、教育機関などにおいて「現場見学」を実施した。

Step3：地域課題を知る

島根県のように人口減少が進んでいる地域における課題を理解し、科学の観点からの課題解決の方法を探ることを目的に、実際に課題解決に取り組んでいる人たちとの意見交換会やワークショップを行った。

Step4：キャリアをデザインする

女子中高生のキャリアデザイン力を醸成するとともに保護者や教員に対し、科学・理系分野および関連するキャリアに対する意識変化を促すことを目的に、今年度は本学の食堂にて2回のキャリアデザインセミナーを開き、本学の女子大学生・大学院生の先輩と進学や就職、ライブイベントのことなどをみんなで考えた。

成果報告会 しまね大交流会

Step1~4 に自らの体験と体験を通して感じたことを文章と写真で表現し、社会に向けて発信することで分析力・表現力・発信力を養うことを目的に、平成30年12月15日(土)に行われた「しまね大交流会」において今年度実施した「出前授業」や「体験教室」、「現場見学ツアー」の内容をポスター展示し、女子中学生と本学女子大学生が体験した活動の内容や感想等を来場者に伝えた。

Step1~3 で実施された主な研修先、学校一覧表

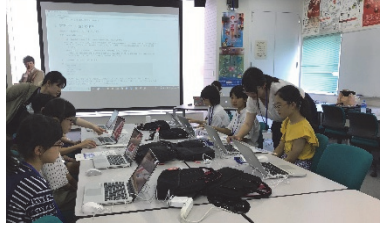
Step1 出前授業	実施期間：平成30年6月～平成31年3月
出雲市立湖陵中学校、雲南市立大東中学校、邑南町立羽須美中学校、高文連、島根県立大田高校、 <u>島根県立隠岐高校</u> 、島根県立青少年の家サンレイク、島根県立大社高校、島根県立大東高校、島根県立益田翔陽高校、島根県立松江南高校、島根大学教育学部附属中学校、松江市立湖南中学校、松江市立島根中学校、松江市立第三中学校、松江市立第二中学校、松江市立第四中学校、松江市立本庄中学校、松江市立八雲中学校、安来市立第一中学校、安来市立第三中学校、安来市立伯太中学校、安来市立広瀬中学校 (50音順)	
※下線部1か所では、Step3の「地域課題に関する意見交換会」を研修終了後行った	

Step1・2 体験学修・現場見学	実施期間：平成30年7月～平成30年8月
出雲科学館、株式会社イワミ村田製作所、株式会社島根富士通、神戸天然物化学株式会社出雲工場、宍道湖自然館ゴビウス、島根大学生物資源科学部生物化学研究室、 <u>島根大学総合理工学部計算機科学講座</u> 、 <u>認定NPO法人自然再生センター</u> 、益田赤十字病院、松江オープンソースラボ、松江工業高等専門学校、 <u>松江市立病院</u> 、 <u>松江生協病院</u> 、 <u>松江赤十字病院</u>	
※下線部4か所では、Step3の「地域課題に関する意見交換会」を研修終了後行った	

各研修の様子



山口特任助教の出前授業の様子



プログラミング体験の様子



研究室見学の様子



病院での現場見学ツアーの様子



キャリアデザインセミナーの様子



報告会の様子

ロールモデル集の作成

本プログラム進行にあたって、女子中高生が理系進路を考えるためには、理工学系、医学薬学系の各分野で活躍している先輩方、ロールモデルとなる人の話を身近に聞ける機会が大事になってくると考えた。そこで、実際に理工学系、医学薬学系の各分野で活躍している先輩方から仕事の内容や仕事を選んだきっかけなどを質問し、1冊の冊子を作成。



リケジョからのメッセージ

令和元年度

●輝けミライの私！山陰ガールズプロジェクト 2019

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に米子工業高等専門学校が代表機関、島根大学及び松江工業高等専門学校が共同実施機関として参画した「輝けミライの私！山陰ガールズプロジェクト 2019」が採択された。このプロジェクトの事業に加え、平成 30 年度まで実施した同プログラムの「しまねガールズ・サイエンスプロジェクト」の一部を継続実施した。理系への興味が薄い女子中高生に対し、科学への興味を促し、女子中高生自らが将来のキャリアデザインを考える場を提供し、女子中高生および保護者・教員の理系のイメージを変え、理系キャリアの意識醸成を図ることを目的に以下の事業を実施。

○工場見学ツアー

女性がキラキラ輝いて仕事をしている現場を肌で感じてもらえるような企業・工場等の見学ツアーを実施した。

日程	ツアー名	実施場所
8月4日	流域の環境循環を知ろう！	認定NPO 法人自然再生センター
8月6日	病院の仕事を知ろう！ヘリポートが見られるかも?!	松江赤十字病院
8月7日	病院の仕事を知ろう！	益田赤十字病院
8月8日	最先端の医療テクノロジーに触れてみよう！	松江市立病院
8月9日	電子部品の工場の「裏側」まで見に行こう！	(株)イワミ村田製作所
8月9日	奥出雲たたらツアー～日本刀を知る～	奥出雲たたら刀剣館
8月31日	プログラミング体験ワークショップ	松江オープンソースラボ

○サイエンスカフェ

理系にあまり興味を持っていない学生・保護者に対し、理系の楽しさを知ってもらうため、島根大学のオープンキャンパス開催時に併せて実施した。

日程	講座名	実施場所
8月1日	身近な微生物「酵母」とコエンザイムQのお話	島根大学
8月2日	イカやタコは何を見ているの？-頭足類の視覚の秘密-	島根大学

○実験体験講座

普段理系に馴染みがない学生も安心して取り組める実験体験型プログラムを実施した。

日程	講座名	実施場所
8月5日	遺伝子を視てみよう！	島根大学（生物資源科学部）

○チャレンジラボ

理系に興味を持った学生に、より高度な実験装置、測定器具、最新のコンピューターを積極的に活用した体験型プログラムを実施した。

日程	講座名	実施場所
8月6日	野菜や果物に含まれる色素を分析しよう	島根大学（生物資源科学部）
8月23日	機能性高分子の合成	島根大学（総合理工学部）

○リケジョ合宿

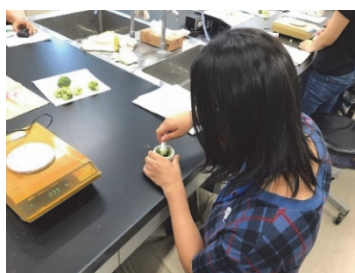
理系に関心のある学生を対象とした合宿を実施した。世界で活躍する女性研究者の講演のほか、女子大学生・高専生によるポスター発表や学生生活等の体験談を聞き、リケジョと理系の魅力を伝えた。

日程	実施場所
8月17-18日	鳥取県立大山青年の家
10月12-13日	サンレイク

各研修の様子



病院での現場見学ツアーの様子



実験体験講座の様子



サイエンスカフェの様子



チャレンジラボの様子



たたら見学ツアーの様子



リケジョ合宿の様子

IV ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進事業

1 仕事と家庭の両立支援

(1) 出雲キャンパス学童保育施設「キッズクラブ太陽」開設

平成30年7月に医学部構内に学童保育施設「キッズクラブ太陽」を設置した。利用対象者は本学職員・学生のほか、定員に達しない場合は一般の利用も可能となっている。

今までも隣接する院内保育所で学童一時保育は実施していたものの、勤務時間が変則的な医学部・附属病院職員から学童保育施設設置の要望が多くあり、男女とも安心して働けるように環境を整備したものの。

「キッズクラブ太陽」の建物は鉄骨平屋建てで、面積は150平方メートル。多目的室と学習室2室を有し、定員は50名となっている。



(平成30年7月23日 学童保育施設開所式)

(2) ニュースレター「シマダディ」発行

イクメン応援企画としてニュースレター「シマダディ」を発行。女性が職場で性別に関係なく活躍するためには、裏返せば、男性が家事・育児・介護などを自分の役割として分担していくことが必要。本紙では、主に家事や育児に参加する男性職員について特集するとともに男女共同参画やワーク・ライフ・バランス等の情報を掲載。本紙が働き方の見直しや職場環境の改善の一助となることを期待し、学内の全教職員に配布するとともにホームページで配信。

第6号 (2018年9月)	【トピックス】 出雲キャンパスに学童保育施設「キッズクラブ太陽」が完成しました！
第7号 (2018年11月)	【トピックス】 平成30年度「しまだいキッズスクール」を開催しました！

(3) 夏期学童保育の実施

仕事と育児の両立支援の一環として、小学生の子どもを持つ教職員が、子どもの夏期休暇中も安心して業務に従事できるよう松江キャンパスにおいて夏期学童保育を実施するもの。男女共同参画推進室と学生団体プレプレまつえキッズが共同で行った。

平成30年度

平成30年8月20～21日に実施し、小学生22名が参加した。

初日に開校式を行い、服部学長からプレプレまつえキッズに飲み物の贈呈があった。その後、室内で折り紙、ボードゲーム、宿題を行ったり、炎天下の中、プレプレまつえキッズの学生と一緒にのこぎりを使った木工工作やハンモックをしたり、昼食は屋外のかまどでカレーやおにぎりを一緒に作って食べるなど、普段ではなかなかできない体験をすることができた。また図書館コンシェルジュの学生による本の読み聞かせも行われた。

令和元年度

令和元年8月20～21日に実施し、小学生26名が参加した。

初日に開校式を行い、吉田理事からプレプレまつえキッズに飲み物の贈呈があった。その後、キャンパスツアーで大学内を見学した。また、室内でボードゲーム、宿題を行ったり、炎天下の中、プレプレまつえキッズの学生と一緒にのこぎりを使った木工工作等を楽しんだ。昼食は屋外のかまどでシチューを一緒に作って食べたり、流しそうめんをした。一部は図書館を利用して自由研究をすすめるなど、いつもと違う環境での活動を楽しむ姿が見られた。



2 女性支援体制

(1) 研究サポーターの配置

育児や介護によって研究時間の確保が困難な研究者に対して、研究の補助業務を行う研究サポーターを配置。

平成30年度は、8月に希望者を募集し、10名の研究者に対し10月から順次研究サポーターを配置した。

(2) センター試験入試における託児サービス

センター試験入試（平成31年1月19日・20日）に試験業務に従事する教職員を対象に託児サービスを実施。述べ4名の職員が利用した。

(3) 研究者ネットワーク「SANIN 研究者ご縁ネット」

研究分野や年代を超えた研究交流のための女性研究者のネットワークとして、平成 28 年度に「しまね女性研究者ご縁ネット」を設立。毎月開催するミーティングでは約 15 名前後の研究者が参加し、自身の研究紹介や意見・情報交換を行っている。現在は女性に限らず、広く島根県内の大学、企業の研究者に参加を呼びかけている。

●ご縁ネットミーティング

「SANIN 研究者ご縁ネット」メンバーによるミーティングが月 1 回開催されている。

ミーティングは、毎回担当者 1 名が自身の研究を他の分野の研究者にもわかりやすく紹介し、参加者全員が質問やコメントを行い、発表者がそれに答えるというもの。参加者は交流の中で、お互いの研究への理解を深めている。

このように異なる分野の研究者が定期的集まり話し合う中で、共同研究やプロジェクトに繋がりそうなアイデアを生み出される取組みに発展することを目指している。

平成 30 年度

月 日	内 容
4 月 24 日 (火)	第 20 回しまね女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】4 月 24 日 (火) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】生物資源科学部生命科学科 特任助教 須貝杏子氏 「島の生物学—フィールドワークと DNA 解析を組み合わせ—」
5 月 30 日 (水)	第 21 回しまね女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】5 月 30 日 (水) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】人間科学部 教授 西崎緑氏 「貧困・差別の構造からアメリカ社会を読み解く～黒人女性の闘いの歴史を中心に」
6 月 28 日 (木)	第 22 回 SANIN 女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】6 月 28 日 (木) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】法文学部 准教授 小林亜希子氏 「一致の非対称」
7 月 18 日 (水)	第 23 回 SANIN 女性研究者ご縁ネットランチミーティング 【日時】7 月 18 日 (水) 11:50~12:40 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】保健管理センター 准教授 杉原志伸氏 「心臓の病気を治療する、ということ」

月 日	内 容
7月27日(金)	第24回 SANIN 女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】7月27日(金) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】松江工業高等専門学校 校長 平山けい氏 「愛すべき細胞 Neuron」
8月10日(金)	第25回 SANIN 女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】8月10日(金) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】人間科学部福祉社会コース 講師 佐藤桃子氏 「デンマークの子どもたち」
9月26日(水)	第26回 SANIN 女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】9月26日(水) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】生物資源科学部農林生産学科 准教授 池浦博美氏 「パクチーの香りの機能性」
11月6日(火)	第27回 SANIN ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】11月6日(火) 18:00~19:00 【場所】島根大学 法文学部棟2階多目的室1(270室) 【話題提供】島根大学監事 篠塚英子氏 「安定した暮らしを守る政治経済とは?~トランプ大統領2年目の米国と日本」
11月21日(水)	第28回 SANIN 女性研究者ご縁ネットランチミーティング 【日時】11月21日(水) 11:50~12:40 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】法文学部 教授 宮本恭子氏 「ドイツの介護の家族支援策の特徴と課題—日本の今後の家族支援の方向性を探る—」
12月14日(金)	第29回 SANIN ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】12月14日(金) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】松江工業高等専門学校 教授 服部真弓氏 「多読授業と英語教育」
1月17日(木)	第30回 SANIN ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】1月17日(木) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】生物資源科学部生命科学科 教授 室田佳恵子氏 「ポリフェノールの健康効果について」

月 日	内 容
2月27日(水)	第31回 SANIN ご縁ネットイブニングミーティング 【日時】2月27日(水) 18:00~19:00 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】生物資源科学部生命科学科 准教授 初見真知子氏 「生物の進化」
3月18日(月)	第32回 SANIN ご縁ネットランチミーティング 【日時】3月18日(月) 11:50~12:45 【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」 【話題提供】人間科学部福祉社会コース 助教 山口倫子氏 「スクールソーシャルワークについて」



4月24日 須貝 杏子氏



5月30日 西崎 緑氏



6月28日 小林 亜希子氏



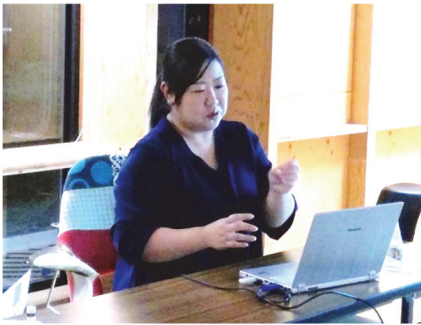
7月18日 杉原 志伸氏



7月27日 平山 けい氏



8月10日 佐藤 桃子氏



9月26日 池浦 博美氏



11月6日 篠塚 英子氏



11月21日 宮本 恭子氏



12月14日 服部 真弓氏



1月17日 室田 佳恵子氏



2月27日 初見 真知子氏



3月18日 山口 倫子氏

令和元年度

月 日	内 容
4月26日(金)	<p>第33回 SANIN ご縁ネットランチミーティング</p> <p>【日時】4月26日(金) 12:10~12:55</p> <p>【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」</p> <p>【話題提供】島根大学環境システム科学系建築デザイン学科 助教 三島幸子氏 「地域包括ケアシステムについて」</p>
5月27日(月)	<p>第34回 SANIN ご縁ネットイブニングミーティング</p> <p>【日時】5月27日(月) 18:35~19:35</p> <p>【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」</p> <p>【話題提供】島根大学研究推進室 助教 小竹雅子氏 「人文・社会科学系研究評価に関する課題ー研究の発展につながるような評価とはー」</p>
7月19日(金)	<p>第35回 SANIN ご縁ネットイブニングミーティング</p> <p>【日時】7月19日(金) 18:30~20:00</p> <p>【場所】島根大学法文学部棟2階多目的室</p> <p>【話題提供】徳島大学監事 立木さとみ氏 「111年の時を超えて~日露戦争時の写真に見る日ロ友好の記憶~」</p>
9月18日(水)	<p>第36回 SANIN 女性研究者ご縁ネットイブニングミーティング</p> <p>【日時】9月18日(水) 18:00~19:15</p> <p>【場所】島根大学 学生市民交流ハウス「FLAT」</p> <p>【話題提供】松江工業高等専門学校 助教 李セロン氏 「心電図について」</p>



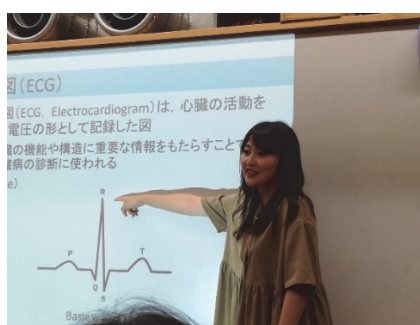
4月24日 三島 幸子氏



5月27日 小竹 雅子氏



7月19日 立木 さとみ氏



9月18日 李 セロン氏

V その他

(1) 平成 30 年度プレミアムこっころカンパニー島根県知事表彰を受賞

平成 30 年 12 月 19 日、平成 30 年度プレミアムこっころカンパニー島根県知事表彰を受賞。この表彰は島根県が仕事と家庭の両立支援をより進めるため、「しまね子育て応援企業（こっころカンパニー）」に認定されている企業の中から、認定時の審査項目と育児休業や年次有給休暇の取得率、時間外労働の状況などの実績を合わせ、特に優れている企業を「プレミアムこっころカンパニー」として表彰するもの。島根大学は 3 年連続の受賞となり、殿堂入りすることとなった。



VI 資料

島根大学男女共同参画の状況

1 職名別・性別 教員数（令和元年5月）

単位：人

	男	女	計	女性 比率 %
学長	1	0	1	0.0
理事 *	5	0	5	0.0
副学長 **	3	0	3	0.0
教授	223	32	255	12.5
准教授	162	31	193	16.1
講師（常勤）	68	35	103	34.0
助教	161	71	232	30.6
小計	623	169	792	21.3
助手	2	4	6	66.7
計	625	173	798	21.7

*非常勤理事は除く、理事が副学長を兼ねている場合は理事に計上

**理事又は副学長が教授を兼ねている場合、教授にはその分を計上してない

2 意思決定機関等における性別構成（令和元年5月）

単位：人

	男	女	計	女性 比率 %
学長補佐等 *	3	2	5	40.0
経営協議会（学内委員）、 教育研究評議会委員**	34	1	35	2.9
部局長等	48	1	49	2.0
監事 **	1	0	1	0.0
小計	86	4	90	4.4
非常勤理事	1	0	1	0.0
経営協議会等（学外委員）	7	2	9	22.2
非常勤監事	0	1	1	100.0
小計	8	3	11	27.3
計	94	7	101	6.9

*理事及び副学長は除く

**学外委員、非常勤理事等は除く

3 部局別・性別教員数（令和元年5月）

単位：人

学部・学科	教員数（本務者）													
	教授		准教授		講師 (常勤)		助教		助手		小計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	女性 比率 %
法文学部	16	5	22	7	5	2	0	0	0	0	43	14	57	24.6
教育学部	33	7	18	4	6	6	0	2	0	0	57	19	76	25.0
人間科学部	5	3	9	2	2	3	1	2	0	0	17	10	27	37.0
医学部	50	9	22	6	5	7	40	24	2	2	119	48	167	28.7
総合理工学部	44	0	35	1	10	3	21	4	0	1	110	9	119	7.6
生物資源科学部	31	3	30	5	2	0	16	7	0	0	79	15	94	16.0
大学院	10	2	3	0	0	0	0	0	0	0	13	2	15	13.3
附属病院	6	0	10	0	32	7	65	24	0	0	113	31	144	21.5
その他	28	3	13	6	6	7	18	8	0	1	65	25	90	27.8
計	223	32	162	31	68	35	161	71	2	4	616	173	789	21.9

4 常勤職員の職系別・職名別職員数（令和元年5月）

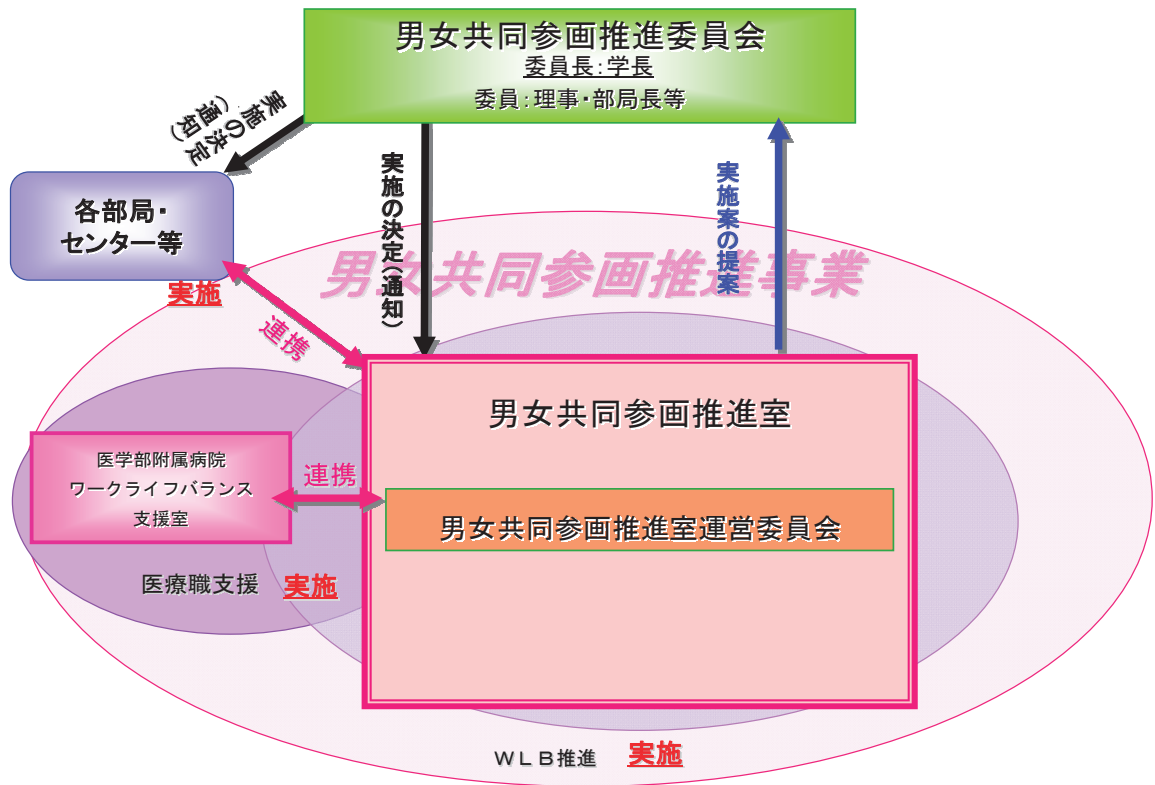
単位：人

職名	事務系*		技術技能系*		医療系*		教務系*		その他*		計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	女性 比率 %
課長相当職以上	25	2	1	0	9	6	0	0	0	0	35	8	43	18.6
課長補佐、専門員等	38	3	17	14	0	0	0	0	0	0	55	17	72	23.6
係長、専門職員等	29	29	1	2	0	30	0	0	0	0	30	61	91	67.0
主任等	19	29	8	5	22	72	0	0	0	0	49	106	155	68.4
その他一般職員	67	83	27	38	239	738	1	0	1	0	335	859	1194	71.9
計	178	146	54	59	270	846	1	0	1	0	504	1051	1555	67.6

*職系の分類は、学校基本調査の分類によるもの

実施体制

1 組織



2 構成

男女共同参画推進委員会

平成30年度

学長	服部泰直
理事（総務・労務担当）	藤田達朗
理事（学術研究・イノベーション創出担当）	秋重幸邦
理事（教育・学生支援担当）	荒瀬榮
理事（医療・附属病院担当）	井川幹夫
理事（大学経営・財務、事務総括担当）	吉田靖
法文学部長	田中則雄
教育学部長	加藤寿朗
人間科学部長	村瀬俊樹
医学部長	並河徹
総合理工学部長	廣光一郎
生物資源科学部長	井藤和人
法務研究科長	野村泰弘
学長特別補佐	河野美江

令和元年度

学長	服部泰直
理事（総務・労務担当）	藤田達朗
理事（学術研究・イノベーション創出担当）	秋重幸邦
理事（教育・学生支援担当）	荒瀬榮
理事（医療・附属病院担当）	井川幹夫
理事（大学経営・財務、事務総括担当）	吉田靖
法文学部長	田中則雄
教育学部長	加藤寿朗
人間科学部長	村瀬俊樹
医学部長	並河徹
総合理工学部長	廣光一郎
生物資源科学部長	井藤和人
学長特別補佐	河野美江

男女共同参画推進室運営委員会

(任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日) ※令和元年5月14日廃止

総務・労務担当理事/男女共同参画推進室長		藤田達朗
法文学部	准教授	福井栄二郎
教育学部	准教授	鎌野育代
人間科学部	教授	岩宮恵子
医学部	准教授	佐野千晶
総合理工学部	教授	山口勲
生物資源科学部	准教授	児玉有紀
法務研究科	教授	鈴木隆
保健管理センター	教授/	
学長特別補佐(男女共同参画担当)		河野美江
教育開発センター	准教授	岩瀬峰代
キャリアセンター	講師	田中久美子
総務部人事労務課	課長	井上徹
教育・学生支援部学生支援課	課長	寺脇玲子
学術国際部国際交流課	課長	福田孝寿

男女共同参画推進室スタッフ

平成 30 年度

理事・副学長（総務・労務担当）/男女共同参画推進室長	藤田達朗
学長特別補佐（男女共同参画担当）/保健管理センター 教授	河野美江
室員/法文学部 法経学科法学分野 准教授	谷口智紀
室員/医学部医学科・産科婦人科学講座 助教	皆本敏子
室員/医学部看護学科基礎看護科学分野 講師	宮本まゆみ
室員/生物資源科学部生命工学科 准教授	丸田隆典
室員/生物資源科学部生命工学科 准教授	小川貴央
室員/教育・学生支援機構教育開発センター 准教授	岩瀬峰代
室員/研究推進室 助教	小竹雅子（10月～）
事務担当	井上徹
人事労務課課長	足立哲男
人事労務課課長補佐	松崎真理子（～6月）
人事労務課企画・労務管理グループ係長	安立陽子（7月～）
人事労務課企画・労務管理グループ係長	武政恵美子
人事労務課企画・労務管理グループ主任	
人事労務課企画・労務管理グループ事務補佐員	金崎雅子

令和元年度

理事・副学長（総務・労務担当）/男女共同参画推進室長	藤田達朗
学長特別補佐（男女共同参画担当）/保健管理センター 教授	河野美江
室員/法文学部 法経学科法学分野 准教授	谷口智紀
室員/医学部医学科・産科婦人科学講座 助教	皆本敏子
室員/医学部看護学科基礎看護科学分野 講師	宮本まゆみ
室員/生物資源科学部生命工学科 准教授	丸田隆典
室員/生物資源科学部生命工学科 准教授	小川貴央
室員/教育・学生支援機構大学教育センター 准教授	岩瀬峰代
室員/研究推進室 助教	小竹雅子
室員/教育・学生支援機構大学教育センター 准教授	丸山実子（10月～）
事務担当	井上徹
人事労務課課長	山崎健治
人事労務課課長補佐	大串健太郎
人事労務課企画・労務管理グループ係長	武政恵美子
人事労務課企画・労務管理グループ主任	

国立大学法人島根大学男女共同参画推進委員会規則

(平成18年島大規則第148号)

(平成18年7月18日制定)

[平成30年3月20日最終改正]

(設置)

第1条 国立大学法人島根大学(以下「本学」という。)に、本学における男女共同参画を推進するため、国立大学法人島根大学男女共同参画推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 男女共同参画推進に係る基本方針に関すること。
- 二 男女共同参画推進に係る方策の策定に関すること。
- 三 男女共同参画推進状況の点検、評価及び改善に関すること。
- 四 その他男女共同参画の推進に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 学長
 - 二 各理事
 - 三 各学部長
 - 四 自然科学研究科長及び法務研究科長
 - 五 医学部附属病院長
 - 六 事務局長
 - 七 男女共同参画推進室長
 - 八 その他学長が必要と認めた者
- 2 前項第8号の委員の任期は3年とし、再任を妨げない。
- 3 委員会に委員長を置き、委員長は、学長をもって充てる。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 4 委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者を出席させ、その意見を聴くことができる。

(事務)

第6条 委員会の事務は、教育・学生支援部学生支援課、医学部総務課及び医学部学務課の協力を得て、総務部人事労務課において処理する。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この規則は、平成 18 年 7 月 18 日から施行する。

附 則（平成 20 年 11 月 25 日一部改正）

この規則は、平成 20 年 11 月 25 日から施行する。

附 則（平成 24 年 3 月 19 日一部改正）

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年 7 月 18 日一部改正）

この規則は、平成 24 年 7 月 18 日から施行し、平成 24 年 6 月 11 日から適用する。

附 則（平成 25 年 3 月 14 日一部改正）

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年 3 月 20 日一部改正）

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

島根大学男女共同参画推進室運営委員会規則

(平成24年島大規則第125号)

(平成24年7月18日制定)

[平成31年3月22日最終改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、島根大学男女共同参画推進室規則(平成20年島大規則第66号)第7条第2項の規定に基づき、島根大学男女共同参画推進室運営委員会(以下「運営委員会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 運営委員会は、島根大学男女共同参画推進室(以下「推進室」という。)の円滑な運営を図るため、次に掲げる事項を審議する。

- 一 推進室運営の基本方針及び事業計画に関すること。
- 二 男女共同参画の推進に係る中期目標・中期計画・年度計画に関すること。
- 三 予算及び決算に関すること。
- 四 事業等の活動評価及び点検に関すること。
- 五 その他推進室の運営に関すること。

(組織)

第3条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 推進室長
- 二 各学部の教員代表 各1名
- 三 教育・学生支援機構保健管理センターに配置する専任教員代表 1名
- 四 教育・学生支援機構教育推進センターに配置する専任教員代表 1名
- 五 教育・学生支援機構キャリアセンターに配置する専任教員代表 1名
- 六 企画部国際交流課長
- 七 教育・学生支援部学生支援課長
- 八 総務部人事労務課長

2 前項第2号から第5号までの委員は、各部局長の申出に基づき、学長が任命する。

3 第1項第2号から第5号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 運営委員会に委員長を置き、委員長は、推進室長をもって充てる。

(会議)

第4条 運営委員会は、委員長が招集し、議長は委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

3 運営委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。

4 運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 運営委員会が必要と認めたときは、運営委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第5条 運営委員会に、特定の事項を処理するために、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループに関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第6条 運営委員会の事務は、総務部人事労務課において処理する。

附 則

1 この規則は、平成24年7月18日から施行し、平成24年6月11日から適用する。

2 この規則の施行後最初に任命される第3条第1項第2号から第5号までの委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

3 国立大学法人島根大学男女共同参画推進専門委員会細則（平成20年島大細則第11号）は、廃止する。

附 則（平成25年3月14日一部改正）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月21日一部改正）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月20日一部改正）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月22日一部改正）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

島根大学男女共同参画推進室規則

(平成20年島大規則第66号)

(平成20年 7月22日制定)

[令和元年 5月14日最終改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、島根大学男女共同参画推進室（以下「推進室」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 推進室は、島根大学（以下「本学」という。）において、男女共同参画の推進、女性研究者支援及びワーク・ライフ・バランスの推進に関する具体的事業を企画・立案・実施することにより、より多様な人材がその能力を発揮できる環境を整え、本学の教育・研究の質をより一層向上させることを目的とする。

(業務)

第3条 推進室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 男女共同参画推進のための具体的方策の計画及び実施に関すること。
- 二 女性研究者支援に関すること。
- 三 ワーク・ライフ・バランスの推進に関すること。
- 四 男女共同参画に関する意識啓発及び相談事業に関すること。
- 五 その他男女共同参画の推進に関すること。

(組織)

第4条 推進室に、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
- 二 室員
- 三 その他必要な職員

(室長)

第5条 室長は、理事又は本学の教員のうちから、学長が任命する。

- 2 室長は、推進室の業務を掌理する。
- 3 室長の任期は、3年とし、再任を妨げない。

(室員)

第6条 室員は、次の各号に掲げる職員とする。第1号の室員は学部長の申出に基づき、第2号の室員は機構長の申出に基づき、第3号の室員は室長の申出に基づき、学長が任命する。

- 一 各学部の教員 各1名
 - 二 機構の教員 若干名
 - 三 その他推進室が必要と認めた者
- 2 室員の任期は、3年とし、再任を妨げない。

(男女共同参画推進室会議)

第7条 推進室の業務の円滑な実施を図るとともに、推進室の運営に関する事項を審議するために、男

女共同参画推進室会議（以下「推進室会議」という。）を置く。

- 2 推進室会議は、室長及び室員で構成する。
- 3 推進室会議に議長を置き、室長をもって充てる。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 5 推進室会議は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。ただし、委任状を提出したものについては、出席したものとみなす。
- 6 推進室会議が必要と認めたときは、推進室会議に室員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

（事務）

第8条 推進室に関する事務は、総務部人事労務課において処理する。

（雑則）

第9条 この規則に定めるもののほか、推進室に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成20年7月22日から施行する。
- 2 この規則施行後最初に任命される第4条第1項の室長の任期は、第5条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。
- 3 この規則施行後最初に任命される第4条第3項の室員の任期は、第7条第2項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則（平成24年3月19日一部改正）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年7月18日一部改正）

- 1 この規則は、平成24年7月18日から施行し、平成24年6月11日から適用する。
- 2 島根大学男女共同参画推進室専任教員の再任手続きに関する細則（平成20年島大細則第9号）は、廃止する。

附 則（令和元年5月14日一部改正）

- 1 この規程は、令和元年5月14日から施行する。
- 2 島根大学男女共同参画推進室運営委員会規則（平成24年島大規則第124号）は、廃止する。

国立大学法人島根大学次世代育成支援事業主行動計画（第5期）

島根大学では、教職員の仕事と生活の両立を推進するとともに、働きやすい環境の整備を目指し、教職員がそれぞれの能力を十分発揮できるよう、次の行動計画を策定する。

1 計画期間 平成30年4月1日から平成34年3月31日までの4年間

2 内容

目標1 仕事と生活の両立支援関連制度を周知し、利用しやすい環境を整備する。

【対策】（平成30年4月～）

- ホームページ、ニュースレター等を通じて、子どもの出生時における男性教職員の育児のための休暇及び育児休業等について周知・啓発を行い、積極的な利用を促す。
- 期間中の年度毎に、両立支援関連制度に関する利用状況を調査し、定期的に公表することにより意識向上を図るとともに、さらに利用しやすい環境となるよう整備を行う。

目標2 時間外労働の縮減を図る。

【対策】（平成30年4月～）

- 期間中の年度毎に、時間外労働時間数を定期的に取りまとめ、実態を把握するとともに、公表することにより意識向上を図る。
- 時間外労働縮減の重要性について、会議等を通じて管理者及び職員に対し啓発を行う。
- 原則として週2回定時退勤日を設け、定時退勤の徹底に努める。

目標3 年次有給休暇の取得を促進する。

【対策】（平成30年4月～）

- 期間中の年度毎に、年次有給休暇の取得状況について調査を行い、実態を把握するとともに、公表することにより意識向上を図る。
- ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始などと組み合わせた休暇の取得を促進するなど、休暇を取得しやすい環境づくりに努め、取得の促進をはかる。

国立大学法人島根大学 女性活躍推進のための事業主行動計画（第2期）

島根大学では、女性が安心して働きつづけ、いきいきと活躍できる環境の整備を行うため、次の行動計画を策定する。

1 計画期間 平成30年4月1日から平成34年3月31日までの4年間

2 内容

目標1 女性研究者比率22%以上とする。

【取組内容】（平成30年4月～）

- 期間中の年度毎に、女性研究者比率について現状を把握するとともに、学内に周知することにより意識向上を図る。
- 女性研究者同士の交流の機会やネットワーク作りを推進する。

目標2 大学教員について教授職に占める女性の割合を11%以上、事務職員について管理職に占める女性の割合を14%以上とする。

【取組内容】（平成30年4月～）

- 大学の意思決定機関への女性の参画を推進することにより、管理職候補者の育成を図る。
- 女性活躍推進に関する意識啓発セミナー、キャリアアップやリーダー育成に関する研修を実施する。

目標3 仕事と生活の両立支援関連制度を周知し、利用しやすい環境を整備する。

【取組内容】（平成30年4月～）

- ホームページ、ニュースレター等を通じて、子どもの出生時における男性教職員の育児のための休暇及び育児休業等について周知・啓発を行い、積極的な利用を促す。
- 期間中の年度毎に、両立支援関連制度に関する利用状況を調査し、定期的に公表することにより意識向上を図るとともに、さらに利用しやすい環境となるよう整備を行う。

目標4 時間外労働の縮減を図る。

【取組内容】（平成30年4月～）

- 期間中の年度毎に、時間外労働時間数を定期的に取りまとめ、実態を把握し状況を公表することにより意識向上を図る。
- 時間外労働縮減の重要性について、会議等を通じて管理者及び職員に対し啓発を行う。
- 原則として週2回定時退勤日を設け、定時退勤の徹底に努める。

目標5 年次有給休暇の取得を促進する。

【対策】（平成30年4月～）

- 期間中の年度毎に、年次有給休暇の取得状況について調査を行い、実態を把握するとともに、公表することにより意識向上を図る。

●ゴールデンウィーク，夏季休暇，年末年始などと組み合わせた休暇の取得を促進するなど，休暇を取得しやすい環境づくりに努め，取得の促進をはかる。

沿革

平成 17 年度	次世代育成支援事業主行動計画を策定・実施	
平成 18 年度	本田雄一学長を委員長とする島根大学男女共同参画推進委員会の設置 島根大学男女共同参画推進ワーキンググループ (WG) の設置 島根大学男女共同参画基本理念・基本方針の決定	
平成 19 年度	男女共同参画推進 WG の活動開始 島根大学男女共同参画メールマガジン創刊 平成 19 年度文部科学省 GP に医学部附属病院の女性医療職キャリア継続モデル事業「しなやかな女性医療職をめざして」が採択	
10 月	医学部附属病院女性スタッフ支援室の設置 「女性研究者支援モデル」WG の設置 (座長：横田綾子法文学部教授)	
平成 20 年度	平成 20 年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」プログラムに、本学の事業案「地方から開く女性研究者の未来 in 島根」が採択	～平成 23 年 3 月
7 月	男女共同参画推進室設置 (室長：高安克己副学長) 旧男女共同参画推進 WG を、男女共同参画推進専門委員会に改組	～平成 21 年 3 月
平成 21 年度		
4 月	柴田均・理事/学術国際担当副学長が室長に就任 男女共同参画推進室、総合理工学部 2 号館 3 階に移転	～平成 21 年 6 月
7 月	澤アツ子 (前財団法人 21 世紀職業財団島根事務所長、前島根大学男女共同参画推進室客員教授) が、専任の新室長/教授として就任 第 1 回外部評価委員会を開催	～平成 24 年 3 月
平成 22 年度	第 2 回外部評価委員会を開催 「第 2 回中国四国男女共同参画シンポジウム」を島根大学主催で開催	
平成 23 年度	島根大学男女共同参画に関する全学意識調査アンケートを実施 第 3 回外部評価委員会を開催 『しまね子育て応援企業 (こっころカンパニー)』に認定	
平成 24 年度		
4 月	塩飽 邦憲 理事 (企画・総務担当) / 副学長が室長に就任 次世代育成支援事業主行動計画 (第 3 期) を策定 『子育てサポート企業』に認定され、認定マーク“くるみん”を取得	～平成 27 年 3 月
平成 26 年度	『しまね子育て応援企業 (こっころカンパニー)』認定更新	
平成 27 年度		
4 月	藤田 達朗 理事 (総務・労務担当) / 副学長が室長に就任 河野 美江 学長特別補佐 (男女共同参画担当) 就任 次世代育成支援事業主行動計画 (第 4 期) を策定 男女共同参画推進室「facebook」開設	

平成 28 年度

- 4 月 女性活躍推進のための事業主行動計画を策定
- 5 月 松江市「まつえ男女共同参画推進宣言企業」に認定
ニュースレター「シマダディ」創刊
- 6 月 女性研究者ネットワーク「ご縁ネット」設置
- 7 月 松江市「まつえワーク・ライフ・バランス推進宣言」を共同宣言
- 7 月 松江市「まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク」加入
学長・理事による「イクボス宣言」
- 8 月 島根県「しまね女性の活躍応援企業」に認定
- 10 月 島根県「しまね働く女性きらめき応援会議」の構成員に
- 10 月 平成 28 年度プレミアムこころカンパニー島根県知事表彰を受賞
- 2 月 平成 28 年度島根大学仕事と介護の両立実態に関するアンケートを実施

平成 29 年度

- 平成 29 年度科学技術振興機構受託事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」
に、本学の事業「地域ともに課題を見つめ、キャリアをデザインする しまねガールズ・サイエンスプロジェクト」が採択 ～平成 31 年 3 月
- 8 月 夏期学童保育「しまだいキッズスクール」を実施
- 1 月 平成 29 年度プレミアムこころカンパニー島根県知事表彰を受賞

平成 30 年度

- 4 月 次世代育成支援事業主行動計画（第 5 期）を策定
女性活躍推進のための事業主行動計画（第 2 期）を策定
- 7 月 出雲キャンパス内に学童保育施設「キッズクラブ太陽」を設置
- 8 月 夏期学童保育「しまだいキッズスクール」を実施
- 12 月 平成 30 年度プレミアムこころカンパニー島根県知事表彰を受賞

令和元年度（～10 月 15 日）

- 4 月 『しまね子育て応援企業（こころカンパニー）』認定更新
- 6 月 島根大学ダイバーシティ推進宣言
- 8 月 夏期学童保育「しまだいキッズスクール」を実施
- 9 月 文部科学省 2019 年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択
- 10 月 男女共同参画推進室をダイバーシティ推進室に名称変更

島根大学男女共同参画推進室年次報告書
(平成 30 年 4 月 1 日～令和元年 10 月 15 日)

令和 2 年 3 月発行

【編集・発行】 国立大学法人島根大学ダイバーシティ推進室
(旧男女共同参画推進室)

〒690-0854 松江市西川津町 1060

TEL : 0852-32-6018 FAX : 0852-32-6833

E-mail : kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

島根大学
男女共同参画推進室

